

# お子様は、こういう状態ではないですか？

「活字の本をまったく読まずマンガやゲームばかりしている。だから漢字が読めないし読解力もない。興味がありそうな本をせっかく買うのに、一向に本を読もうとしない。ガミガミ言っても逆効果になるし……もうどうしたらいいのかわからなくて、本当に困っています……」

もしお子様が、同じような状況に陥ってしまっているのであれば、IKUEI 個別学院にお任せください。

## 「わくわく文庫」が、お子様の読書習慣を変えます。

IKUEI 個別学院には、「わくわく文庫」という速読聴のツールがあります。このツールを使って読書をしてもらおうと、読書習慣がない小学生も驚くほど集中して、本の世界に入り込みます。読んだ後は私たちに、うれしそうに感想を伝えてくれます（口頭でも文章でも）。「本当はもっと読みたいんだけど…」と言いながら帰宅する子もいます。2 か月もすれば、お子様もそのような状態になります。あまりの変わりように、保護者の方はびっくりされることでしょう。——そんな場面を私たちは何度も目の当たりにしてきました。

なぜそのようなことが？それは、本の「読み聞かせ」に秘密があります。子どもが本を読まなくなる理由は、本を読むことに嫌気がさすからです。これは、「漢字が読めず読み飛ばしてしまう」ことが一つの要因です。

「興味がありそうな本をせっかく買うのに、一向に本を読もうとしない」理由はこれです。内容に興味を持っていないではありません。そもそも、本が読めないのですから。

これを解消するのが、「読み聞かせ」です。「わくわく文庫」の場合は、生徒は文章を目で追いながらパソコンが読み聞かせをしてくれます。だから、読み飛ばすことなく本の内容を理解できます。すると生徒は、内容に興味を持つことができ、「次もいろいろ読んでみたい！」と知的好奇心をくすぐります。結果、読書が習慣になる、というわけです。国立教育政策研究所が 2014 年に発表したデータによると、『小学生までに本（絵本を含め）の読み聞かせをしてもらったり、読んだ本の感想を大人と話し合ったりした子どもほど、高くなる傾向がある』との研究結果も出ています。

## 想像以上に変化があって、みなさん驚かれます。

保護者の方からは「本を図書室から借りてきたことなんてなかったわが子が、この間物語を借りてきたんです！」と声を弾ませておられる方、「私が読んでいた本を貸してくれとうるさいんで困っています…」とぜいたくな悩みを抱えている方など、92%の方が「本を読むようになった」とおっしゃいました。

他にも、「国語の感想文の宿題を苦にしなくなった」や「算数の文章題の意味がわかるようになった」という声も寄せられています。——なぜか「英語のリスニングが得意になった」という声も。もちろん、少数派ですが。

## お困りなら今すぐお電話ください。

お子様に読書の習慣を身につけさせたい、と考えておられるなら、今なら 1 回、無料で体験授業を受けることができます。今すぐ下記の電話番号に電話をして、体験授業の日時を決めてください。

**TEL : 082-426-5730 寺家校**